

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	日本語 I – 1 (Japanese I – 1) 2011-0-11-018					担当教員	村越 真紀 (ムラコシ マキ)		
科目区分	教養科目 (留学生 科目)	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1 年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

4技能（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことを目指す。

日本語能力試験 (JLPT) N2 に合格することを目指す。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力／コミュニケーション能力

③ 授業の進め方・指示事項

状況によって、試験のやり方が変わります。試験の前に説明する。

毎回、授業の最後に、出席確認を兼ねた小テストをする。宿題になることもある。

授業の前：次の授業で勉強するテキストの範囲を予習する。

授業の後：授業の内容を確認する。

授業はすべて日本語で行う。

教室では、自分の国の言葉や英語を使わず、日本語で話すこと。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

できるだけ日本事情 1 (The State of Affairs in Japan 1) も履修すること。

⑤ テキスト (教科書)

伊能裕晃他 (2011) 『新完全マスター語彙 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワーク

⑥ 参考図書・指定図書

佐々木瑞枝他 (2006 年) 『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times

友松悦子他 (2010 年) 『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

⑦ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安

(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙について、授業でやった範囲内の問題で 90%以上得点できた。

(ii) 日常の事柄や自分のことに関するテーマで、準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。

(iii) 日常の事柄や自分のことに関するテーマで、適切な構成で、ネイティブチェックが無くともおおよそ意味の通る 800~1000 字の文章が書けた。

⑧ ルーブリック

評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙の習得。	授業でやった範囲を超えて、N2 レベルの語彙の問題で 80% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、90% 以上得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、75～89% 得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、60～74% 得点できた。	授業でやった範囲内の N2 レベルの語彙の問題で、60% 以上得点できなかつた。
(ii) <small>にちじょう ことがら</small> 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表でき、質問にも答えられた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに流暢に発表できた。	テーマに関して準備した内容を、原稿を見ずに発表できたが、流暢ではなかつた。	原稿を見ながらであれば、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できた。	原稿を見ながらであっても、テーマに関して準備した内容を流暢に発表できなかつた。
(iii) <small>にちじょう ことがら</small> 日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くともおおよそ意味の通る 1000 字以上の文章が書けた。	テーマに関して、適切な構成で、ネイティブチェックが無くともおおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおよそ意味の通る 800～1000 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックでおよそ意味の通る 600～800 字の文章が書けた。	テーマに関して、1回のネイティブチェックではおよそ意味の通る 600 字以上の文章が書けなかつた。

⑨ 学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%	10%	15%	15%	15%		100%
(i) 日本語能力試験 (JLPT) N2 レベルの語彙の習得。	45%	10%			10%		65%
(ii) <small>にちじょう ことがら</small> 日常の事柄や自分のことについて、日本語で伝えられる。				15%	5%		20%
(iii) <small>にちじょう ことがら</small> 日常の事柄や自分のことについて、まとまりのある文章が書ける。			15%				15%
フィードバックの方法	<small>かだい てんさく</small> 課題は添削して返す。小テストは採点して返す						

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

積極的に授業に参加してください。

授業時間以外にも、自分で勉強してください。

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） (※特別な持参物)	
1	オリエンテーション、自己紹介、授業の注意点の説明、日本語入力の確認、メールの書き方1（基本フォーマット）	日本語で自己紹介ができるように準備しておく。 可能であれば、パソコンを持って来る。	60 分
2	語彙テキスト 第1部、第1章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	60 分
3	語彙テキスト 第1章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
4	語彙テキスト 第1章、第3課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
5	語彙テキスト 第2章、第1課 ミニスピーチ1	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	60 分
6	語彙テキスト 第2章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
7	語彙テキスト 第2章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
8	語彙テキスト 第2章、第3課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
9	語彙テキスト 第3章、	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分
10	語彙テキスト 第4章、第1課 ミニスピーチ2	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	60 分
11	語彙テキスト 第4章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする	60 分

12	語彙テキスト 第4章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	60分
13	語彙テキスト 第5章、第1課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	60分
14	語彙テキスト 第5章、第2課	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。 ミニスピーチの準備をする。	60分
15	語彙テキスト 第6章、第1課 ミニスピーチ3	前の週の授業内容を復習しておく。 前の週に指示されたところを予習しておく。	60分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性